

6月28日 年間第 13 主日

## 報われた信仰

マルコによる福音書 5 章 21～43 節

<sup>21</sup> イエスが舟に乗って再び向こう岸に渡られると、大勢の群衆がそばに集まって来た。イエスは湖のほとりにおられた。<sup>22</sup> 会堂長の一人でヤイロという名の人に来て、イエスを見ると足もとにひれ伏して、<sup>23</sup> しきりに願った。「わたしの幼い娘が死にそうです。どうか、おいでになって手を置いてやってください。そうすれば、娘は助かり、生きるでしょう。」<sup>24</sup> そこで、イエスはヤイロと一緒に出かけ行かれた。

大勢の群衆も、イエスに従い、押し迫って来た。<sup>25</sup> さて、ここに十二年間も出血の止まらない女がいた。<sup>26</sup> 多くの医者にかかって、ひどく苦しめられ、全財産を使い果たしても何の役にも立たず、ますます悪くなるだけであった。<sup>27</sup> イエスのことを聞いて、群衆の中に紛れ込み、後ろからイエスの服に触れた。<sup>28</sup> 「この方の服にでも触れればいやしていただける」と思ったからである。<sup>29</sup> すると、すぐ出血が全く止まって病気がいやされたことを体を感じた。<sup>30</sup> イエスは、自分の内から力が出て行ったことに気づいて、群衆の中で振り返り、「わたしの服に触れたのはだれか」と言われた。<sup>31</sup> そこで、弟子たちは言った。「群衆があなたに押し迫っているのがお分かりでしょう。それなのに、『だれがわたしに触れたのか』とおっしゃるのですか。」<sup>32</sup> しかし、イエスは、触れた者を見つけようと、辺りを見回しておられた。<sup>33</sup> 女は自分の身に起こったことを知って恐ろしくなり、震えながら進み出てひれ伏し、すべてをありのまま話した。<sup>34</sup> イエスは言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。もうその病気にかからず、元気に暮らさなさい。」

<sup>35</sup> イエスがまだ話しておられるときに、会堂長の家から人々が来て言った。「お嬢さんは亡くなりました。もう、先生を煩わすには及ばないでしょう。」<sup>36</sup> イエスはその話をそばで聞いて、「恐れることはない。ただ信じなさい」と会堂長に言われた。<sup>37</sup> そして、ペトロ、ヤコブ、またヤコブの兄弟ヨハネのほかは、だれもついて来ることをお許しにならなかった。<sup>38</sup> 一行は会堂長の家に着いた。イエスは人々が大声で泣きわめいて騒いでいるのを見て、<sup>39</sup> 家の中に入り、人々に言われた。「なぜ、泣き騒ぐのか。子供は死んだのではない。眠っているのだ。」<sup>40</sup> 人々はイエスをあざ笑った。しかし、イエスは皆を外に出し、子供の両親と三人の弟子だけを連れて、子供のいる所へ入って行かれた。<sup>41</sup> そして、子供の手を取って、「タリタ、クム」と言われた。これは、「少女よ、わたしはあなたに言う。起きなさい」という意味である。<sup>42</sup> 少女はすぐに起き上がって、歩きだした。もう十二歳になっていたからである。それを見るや、人々は驚きのあまり我を忘れた。<sup>43</sup> イエスはこのことをだれにも知らせないようにと厳しく命じ、また、食べ物少女に与えるようにと言われた。

他の朗読：知恵の書 1:13～15; 2:23, 24 詩編 30:2, 4～6, 11～13 II コリント 8:7, 9, 13～15

### Lectio …読む

今日マルコはふたつの癒しのお話をうまく組み合わせています。中心となるのはヤイロとその娘についての話です。しかし、その話の中にもうひとつの癒しが織り込まれます。

ふたつの話には、いくつかの似通った点があります。ヤイロも女も、イエスに対する深い信仰を示しています。二人とも絶望的な状況にいます。イエスは思いやりをもって応えます。そして、女もヤイロの娘も癒されるのです。

ヤイロは会堂長の一人であったにも関わらず、へりくだる覚悟があり、皆の前でイエスの足元にひれ伏して、娘を癒してくれることを懸命にイエスに願いました。これは娘への愛のために、プライドや警戒を捨てる覚悟でイエスの憐れみに身を委ねる、悲痛な父親の行動です。その後、ヤイロの信仰

は試されます。なぜなら、娘のところへ向かっている間に、彼女は亡くなったという知らせが届くからです。他の人は諦めるように彼に言いますが、イエスは彼に「恐れることはない。ただ信じなさい」と言って、彼を勇気付けます。

女は、12 年間も出血が止まらないことに苦しんでいました。多くの医者にかかってみましたが、良くなるよりも、ますます悪くなるだけでした。イエスは彼女の最後の希望です。しかし、彼女は律法によると「汚れている」ため、イエスが彼女に触れることはないでしょう。ですから彼女は、もし誰も気付かないときに、イエスにわずかでも触れることが出来たら癒される、と信じていたのです。

## Meditatio …黙想する

ヤイロと女は、どのようにイエスに対する信仰を示しましたか。

ヤイロは自分の娘のためにイエスへと向かいました。女は、言葉よりも行動を通して自分の信仰を示しました。このふたつの話から、信仰について私たちは何を学ぶことが出来るでしょうか。考えてみましょう。

ヤイロは、他の人に諦めるようにと誘惑されました。彼がイエスを信じ続けるために何が助けになりましたか。あなたの信仰にはどんな試練がありましたか。そしてあなたは今もイエスを信頼していますか。

## Oratio …祈る

詩編 30 編は、神の癒しに対する賛美の歌です。神があなたの人生にもたらしてくださった霊的、感情的、または身体的な癒しに感謝して、この言葉で神を称えましょう。

ヤイロのように、あなたにとって大切な人のためにイエスに助けを求めることができるかどうか、考えてみましょう。

## Contemplatio …観想する

知恵の書 1 章 13～15 節、2 章 23、24 節には、神はご自分にかたどって私たちが創造し、私たちが健康であるよう望まれていることが示されています。イエスがあれほどたくさんの人々を癒したのはこのためかもしれません。

II コリント 8 章 7、9、13～15 節の中で、パウロは愛を示すイエスの行為について記しています。キリスト者はイエスのように寛大になって、他の人と自分の持ち物を分かち合う者となるようにと勧めているのです。